

市民アンケート調査の結果概要

1. 調査概要

(1) 調査目的

市民の日常的な移動の実態、公共交通の利用状況や移動ニーズ、交通に係わる問題点等の把握を目的に実施します。

調査結果は、目指す交通の将来像やその実現に向けて必要となる施策等を検討する際の基礎資料として活用します。

(2) 調査対象

アンケート調査の標本数は、3,000 人（満 18 歳以上の無作為抽出）です。

(3) 調査方法

配布は紙面にて郵送し、回答は紙面回収または、Web 回答としています。

(4) 調査期間

令和 7 年 12 月 4 日（木）～12 月 19 日（金）までの約 2 週間です。

(5) 回答結果

配布数	回収数(内訳)	回答率
3,000	1,374（紙面 930・Web444）	45.8%

(6) 集計について

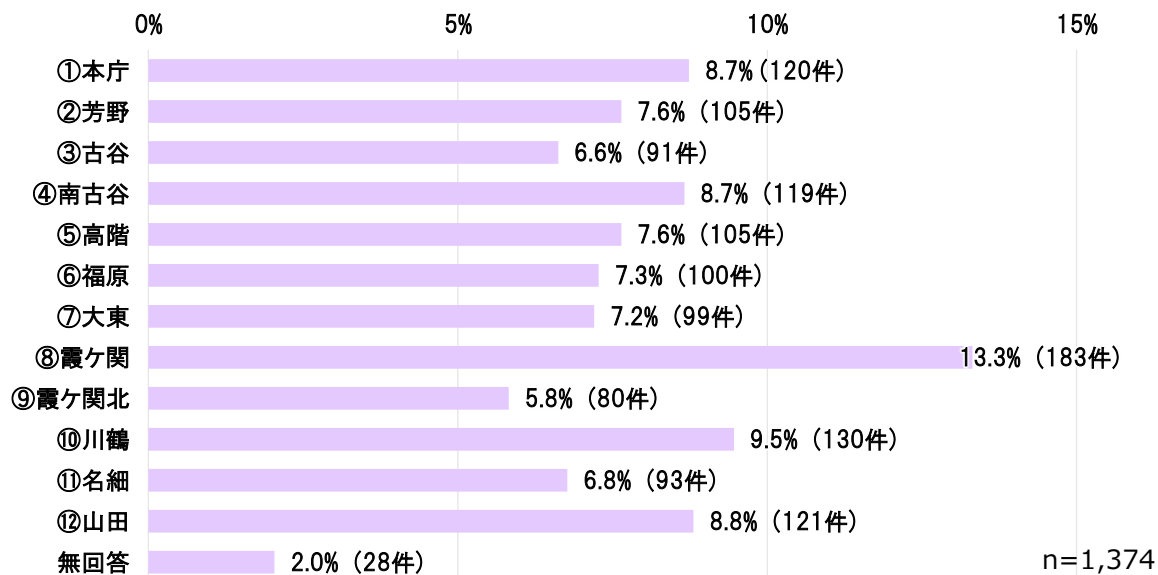
- ・有効回答数を分母として集計する際、複数回答の場合は回収数の 1,374 を分母とします。
- ・単数回答や 3 つまで回答など上限回答数が決められている設問で、上限以上の回答があった場合無効回答とし、未記入の未回答と合わせて、無回答として計上します。
- ・四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

2. 集計結果

(1) 回答者の属性

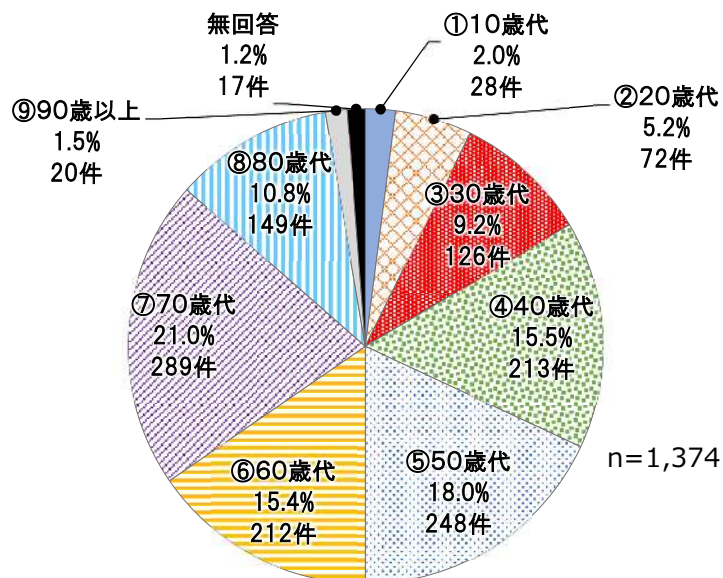
1-1 お住まいの住所（あてはまる地区）

霞ヶ関地区が 13.3%（183 件）と最も多く、次いで、川鶴地区が 9.5%（130 件）、山田地区が 8.8%（121 件）、本庁地区と南古谷地区が 8.7%（120～119 件）の順となっています。



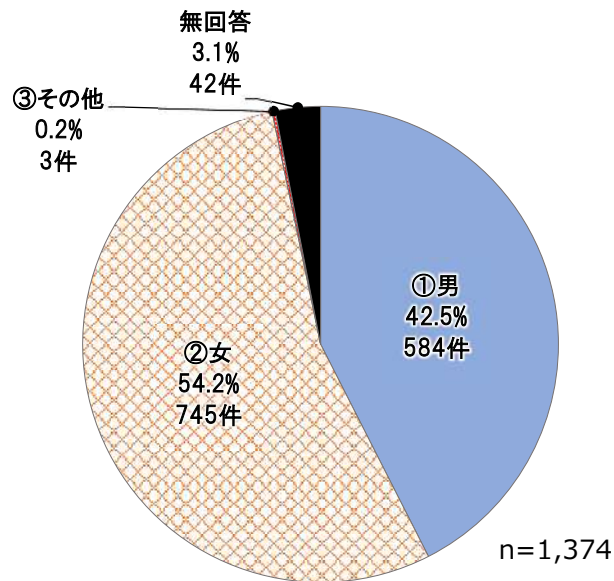
1-2 ご年齢

70 歳代が 21.0%（289 件）と最も多く、次いで、50 歳代が 18.0%（248 件）、40 歳代が 15.5%（213 件）、60 歳代が 15.4%（212 件）の順となっています。60 歳代以上の回答割合が半数近くを占めています。



1-3 性別

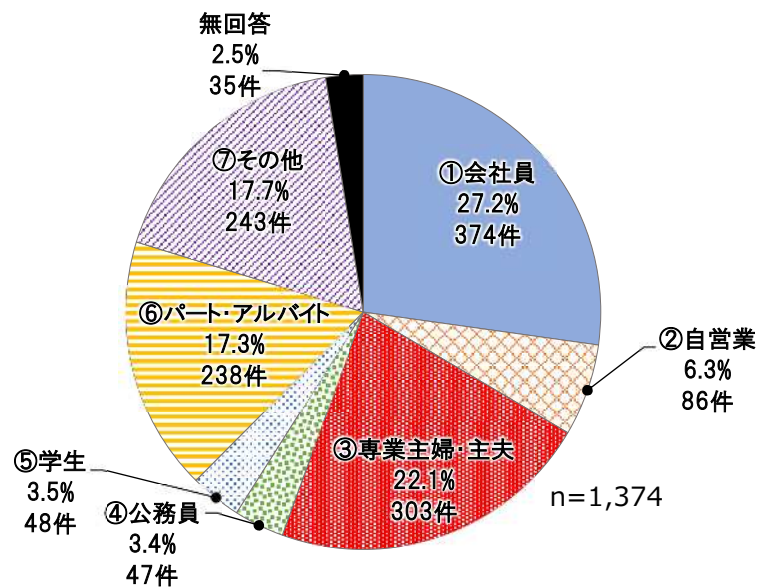
女性が 54.2%（745 件）、男性が 42.5%（584 件）と女性の回答割合が多くなっています。



1-4 ご職業

会社員が 27.2%（374 件）と最も多く、次いで、専業主婦・主夫が 22.1%（303 件）、その他が 17.7%（243 件）、パート・アルバイトが 17.3%（238 件）の順となっています。

その他の内容として、主に無職や年金生活が挙がっています。

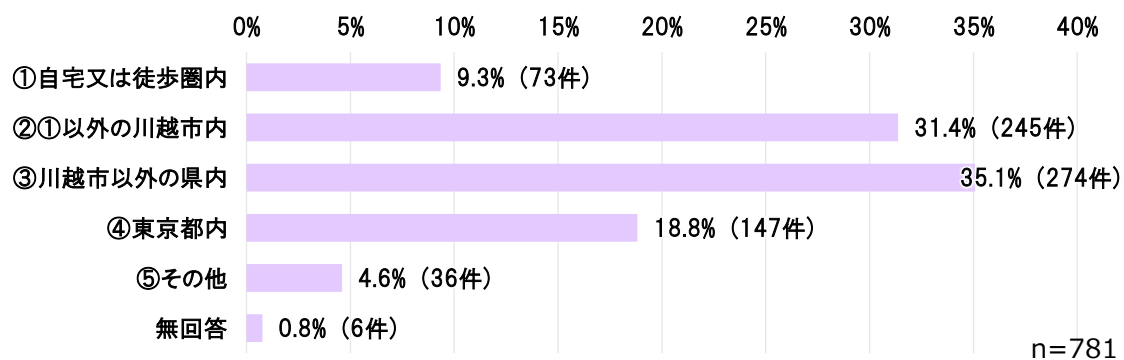


(2) 日常の移動状況

2-1 『通勤・通学』

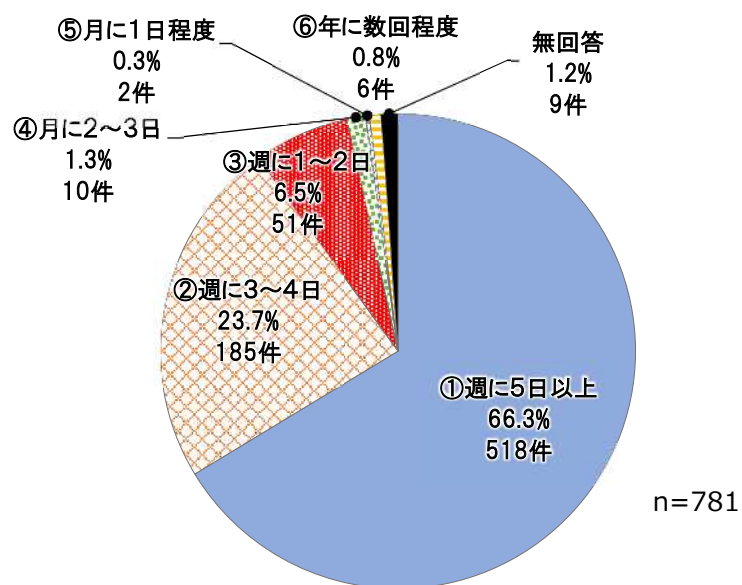
2-1-1 通勤・通学先についてお伺いします。(あてはまるもの1つに○)

川越市以外の県内が 35.1% (274 件) と最も多く、次いで、自宅又は徒歩圏内以外の川越市内が 31.4% (245 件)、東京都内が 18.8% (147 件) の順となっています。



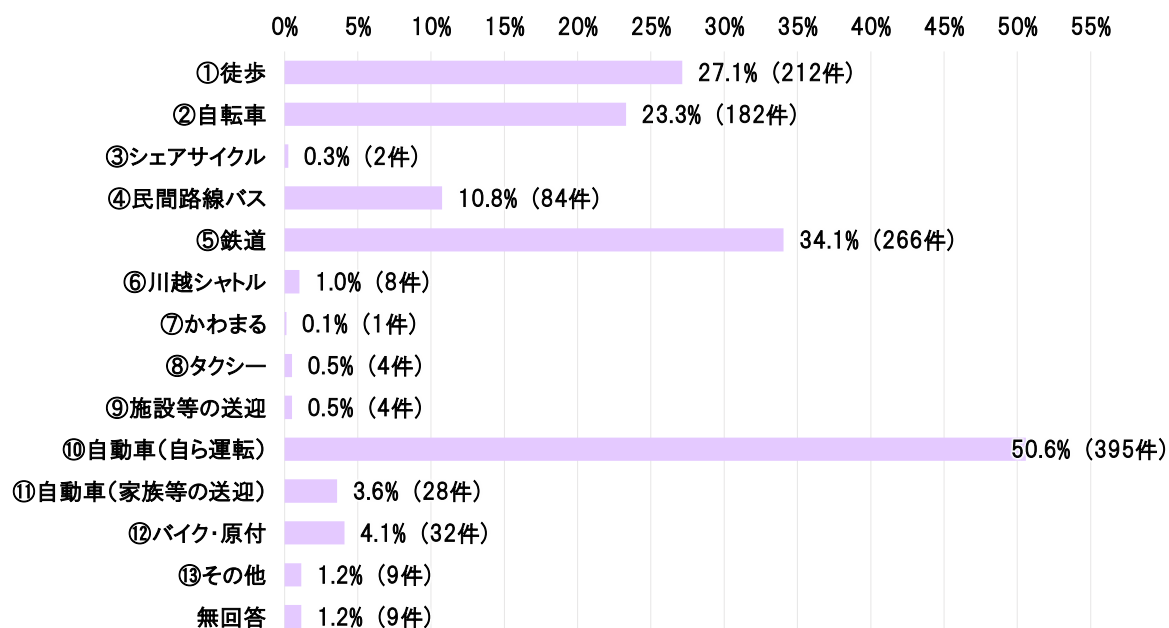
2-1-2 通勤・通学先への移動の頻度をお伺いします。(あてはまるもの1つに○)

週に5日以上が 66.3% (518 件) と最も多く、次いで、週に3～4日が 23.7% (185 件) の順となっています。



2-1-3 通勤・通学先までの移動手段をお伺いします。（あてはまる全てに○）

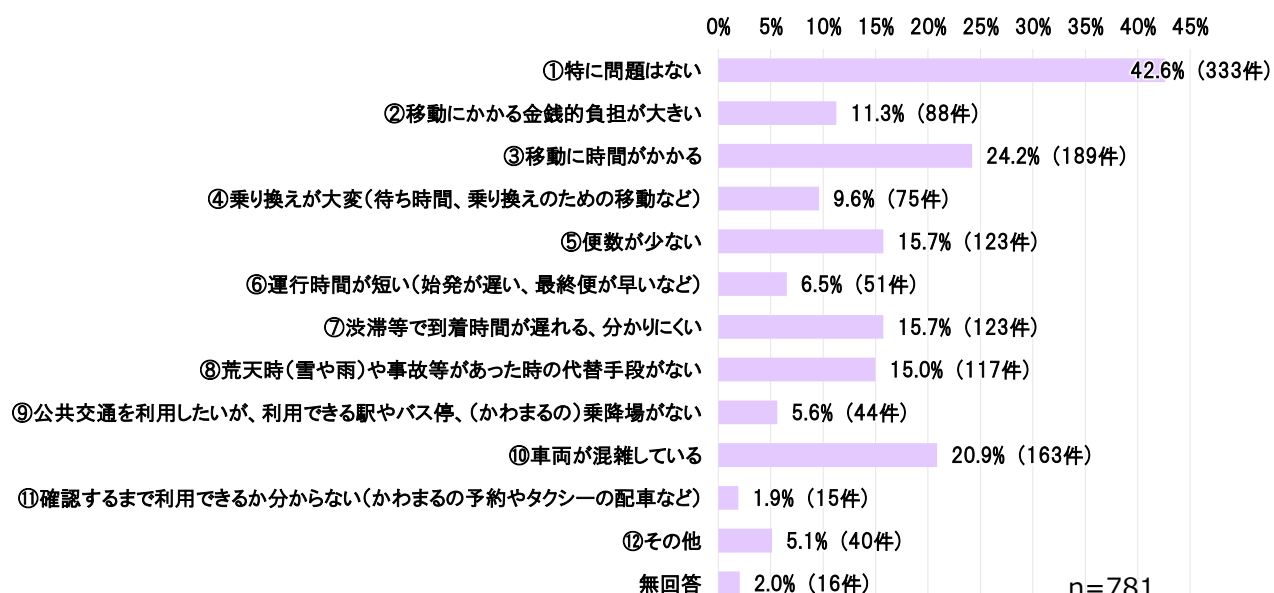
自動車（自ら運転）が 50.6%（395 件）と最も多く、次いで、鉄道が 34.1%（266 件）、徒歩が 27.1%（212 件）の順となっています。



n=781

2-1-4 通勤・通学での移動で課題に感じている点があれば教えてください。（あてはまるもの全てに○）

特に問題はないが 42.6%（333 件）と最も多く、次いで、移動に時間がかかるが 24.2%（189 件）、車両が混雑しているが 20.9%（163 件）の順となっています。

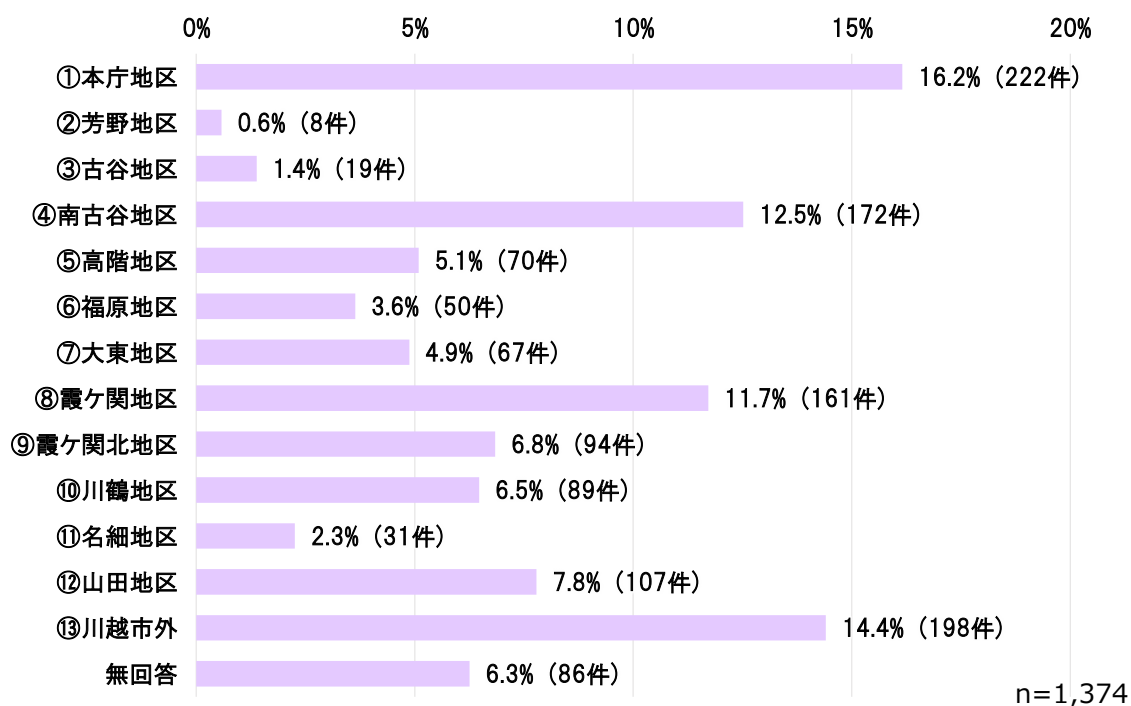


n=781

2-2 『買い物』

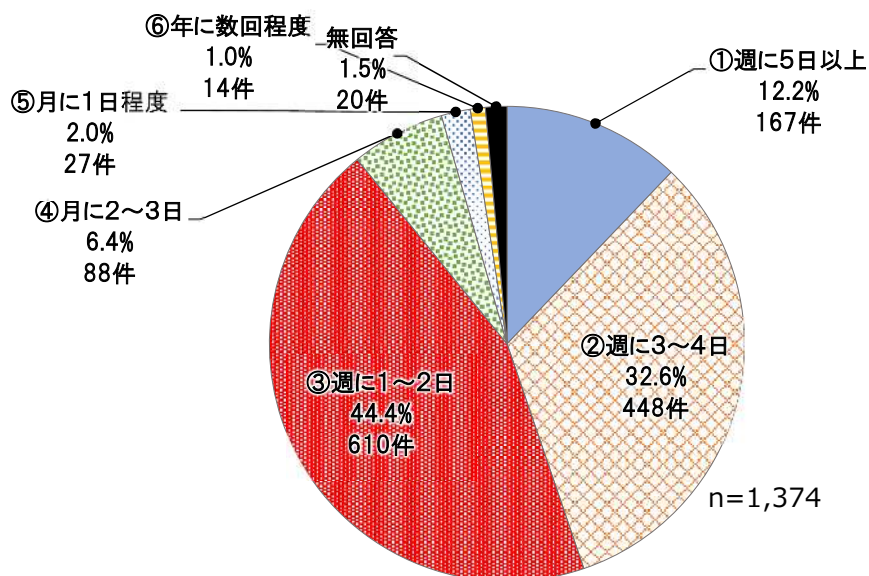
2-2-1 主な買い物先をお伺いします。（あてはまる地区1つに○）

本庁地区が 16.2%（222 件）と最も多く、次いで、川越市外が 14.4%（198 件）、南古谷地区が 12.5%（172 件）、霞ヶ関地区が 11.7%（161 件）の順となっています。



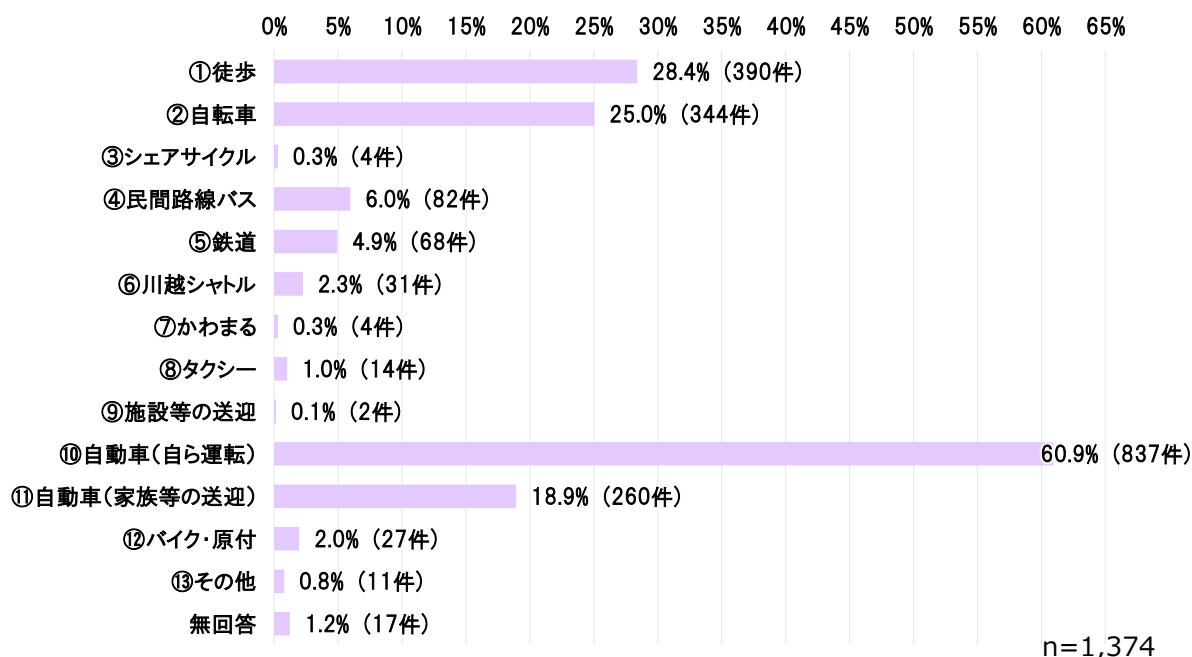
2-2-2 買い物先への移動の頻度をお伺いします。（あてはまるもの1つに○）

週に1～2日が 44.4%（610 件）と最も多く、次いで、週に3～4日が 32.6%（448 件）の順となっています。



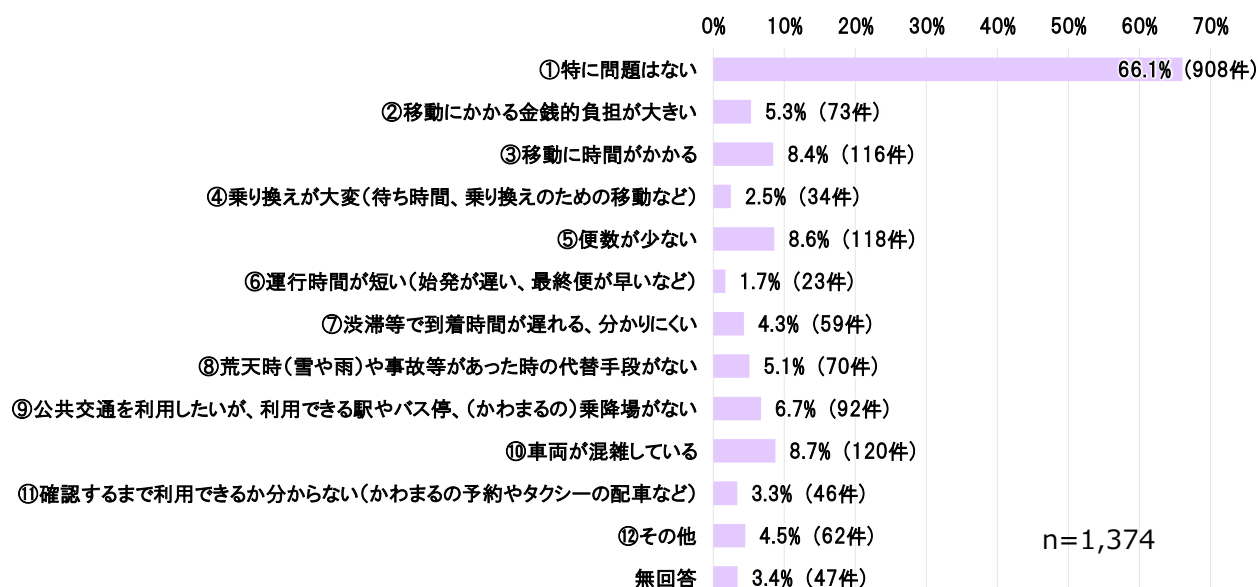
2-2-3 主な買い物先までの移動手段をお伺いします。（あてはまる全てに○）

自動車（自ら運転）が 60.9%（837 件）と最も多く、次いで、徒歩が 28.4%（390 件）、自転車（344 件）の順となっています。



2-2-4 買い物での移動で課題に感じている点があれば教えてください。（あてはまるもの全てに○）

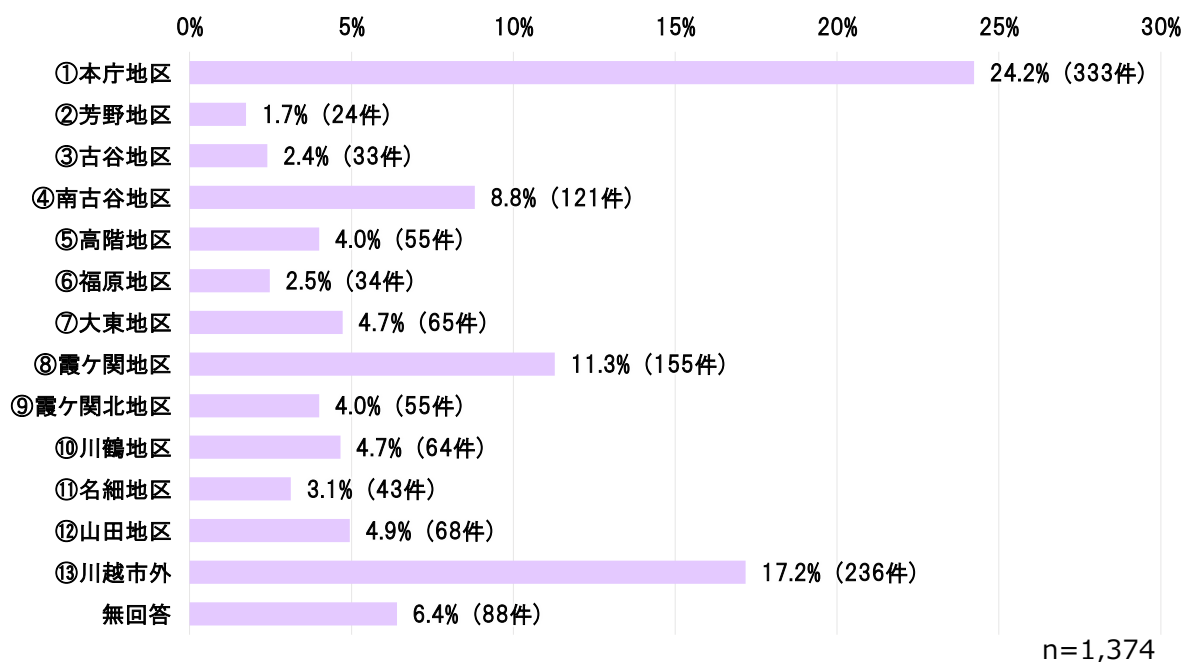
特に問題はないが 66.1%（908 件）と最も多くなっています。



2-3 『通院』

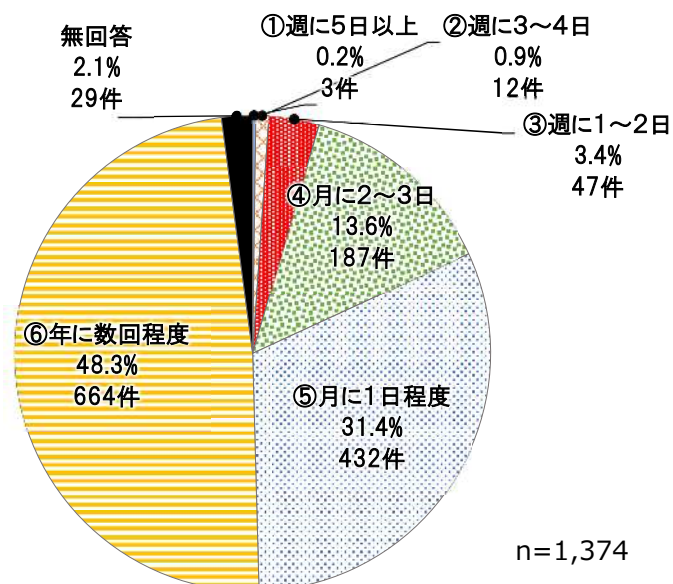
2-3-1 主な通院先をお伺いします。（あてはまる地区1つに○）

本庁地区が 24.2%（333 件）と最も多く、次いで、川越市外が 17.2%（236 件）、霞ヶ関地区が 11.3%（155 件）の順となっています。



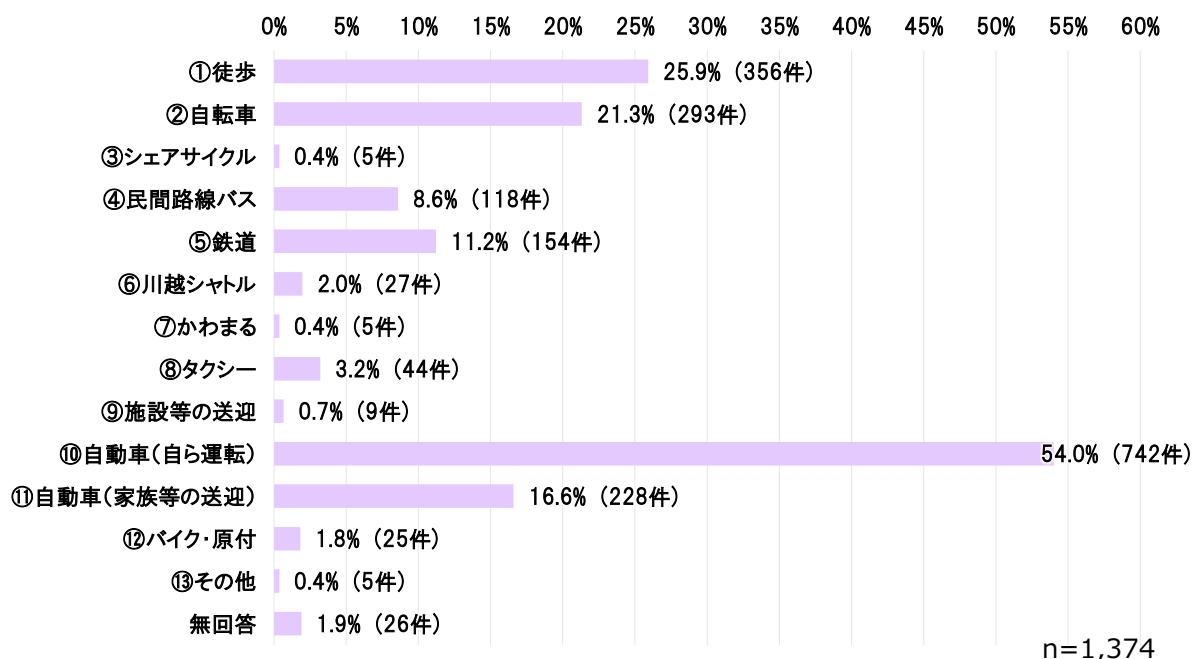
2-3-2 通院の頻度をお伺いします。（あてはまるもの1つに○）

年数回程度が 48.3%（664 件）と最も多く、次いで、月に1日程度が 31.4%（432 件）の順となっています。



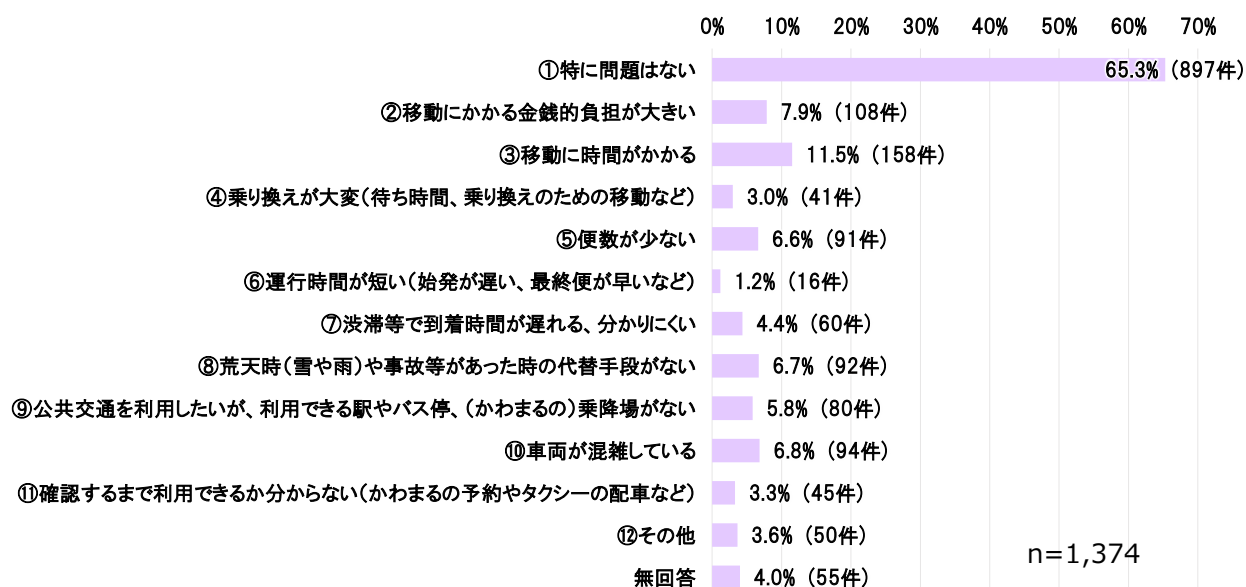
2-3-3 主な通院先までの移動手段をお伺いします。（あてはまる全てに○）

自動車（自ら運転）が 54.0%（742 件）と最も多く、次いで、徒歩が 25.9%（356 件）、自転車（293 件）の順となっています。



2-3-4 通院での移動で課題に感じている点があれば教えてください。（あてはまるもの全てに○）

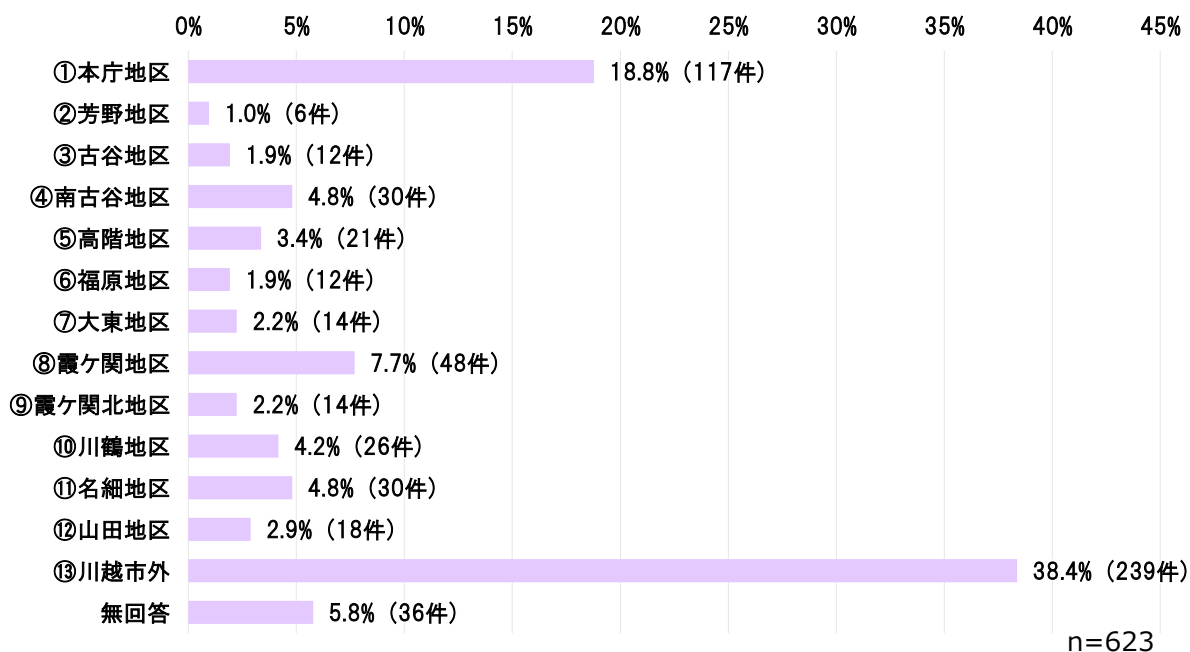
特に問題はないが 65.3%（897 件）と最も多くなっています。



2-4 『趣味・娯楽・習い事』

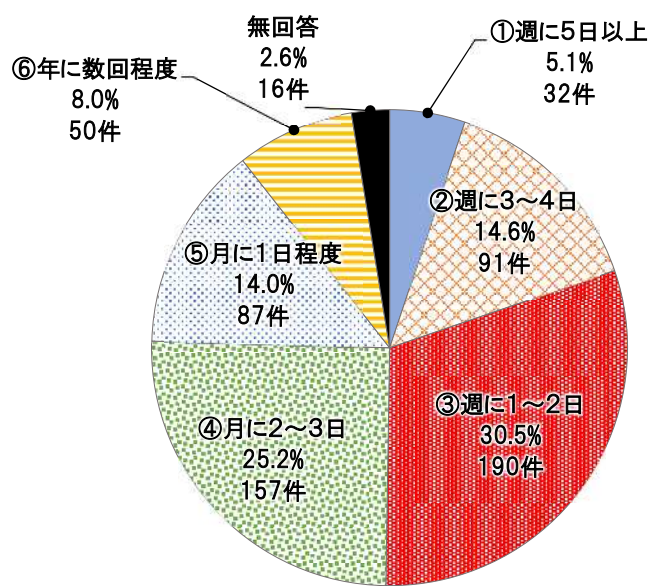
2-4-1 主な趣味・娯楽・習い事の行き先をお伺いします。（あてはまる地区1つに○）

川越市外が 38.4%（239 件）と最も多く、次いで、本庁地区が 18.8%（117 件）の順となっています。



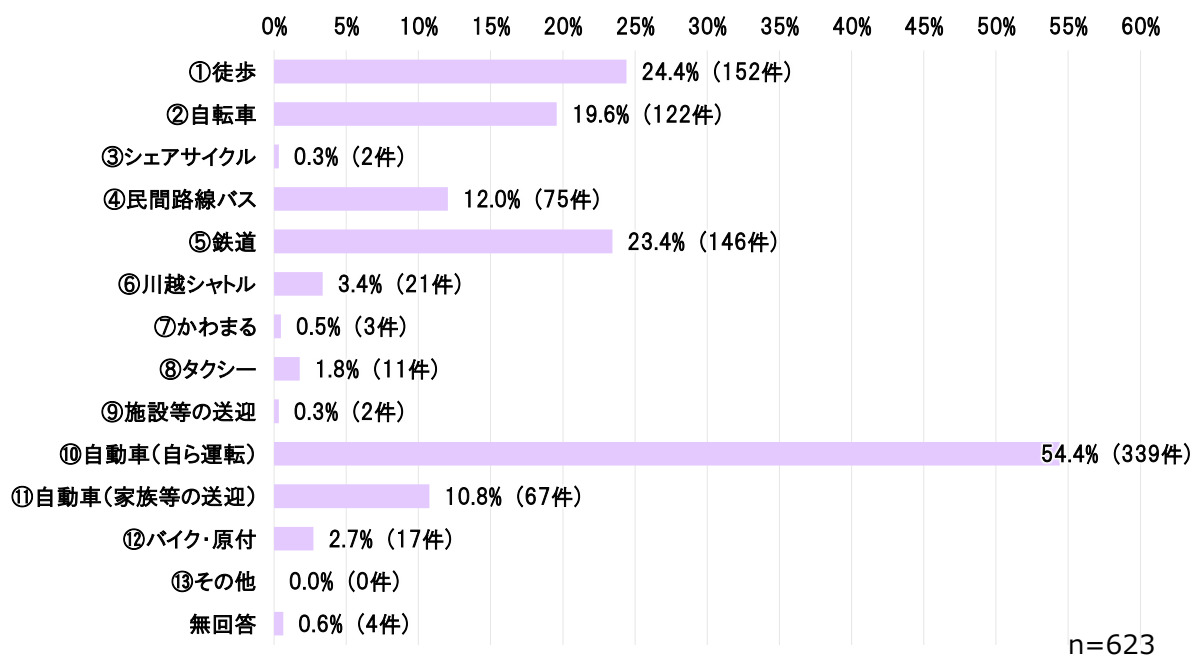
2-4-2 移動の頻度をお伺いします。（あてはまるもの1つに○）

週に1～2日が 30.5%（190 件）と最も多く、次いで、月に2～3日が 25.2%（157 件）、週に3～4日が 14.6%（91 件）、月に1日程度が 14.0%（87 件）の順となっています。



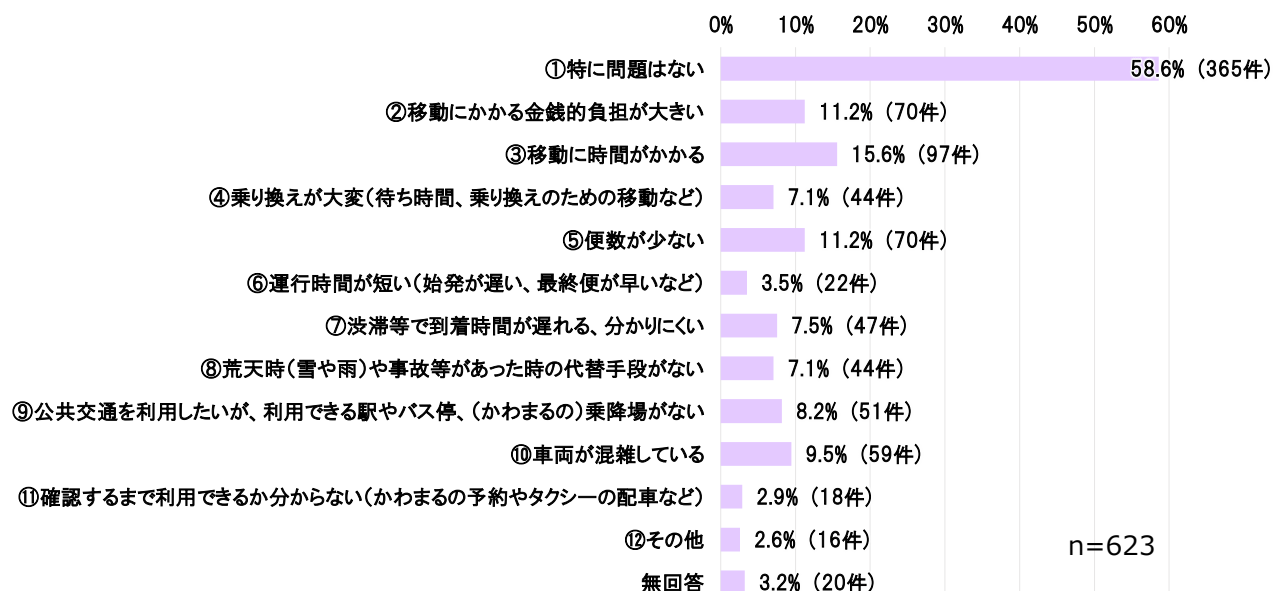
2-4-3 主な行き先までの移動手段をお伺いします。（あてはまる全てに○）

自動車（自ら運転）が 54.4%（339 件）と最も多く、次いで、徒歩が 24.4%（152 件）、鉄道が 23.4%（146 件）の順となっています。



2-4-4 趣味・娯楽・習い事での移動で課題に感じている点があれば教えてください。（あてはまるもの全てに○）

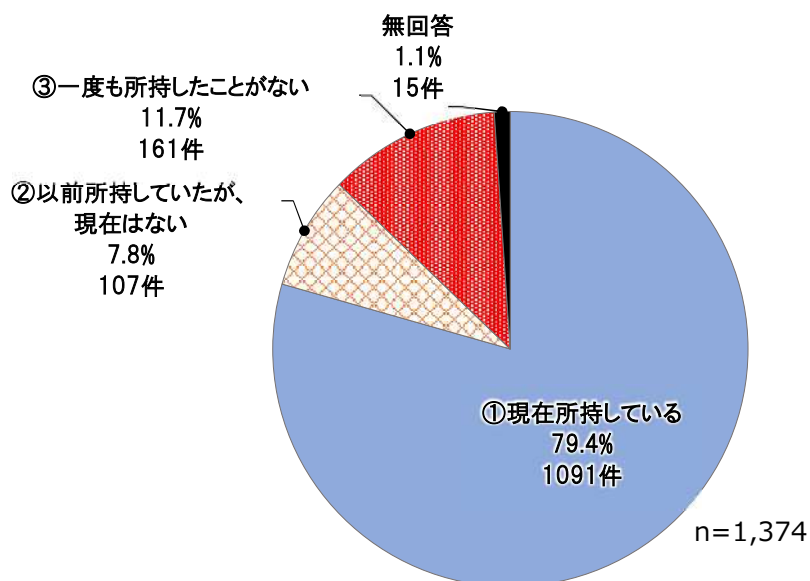
特に問題はないが 58.6%（365 件）と最も多くなっています。



(3) 移動手段の有無

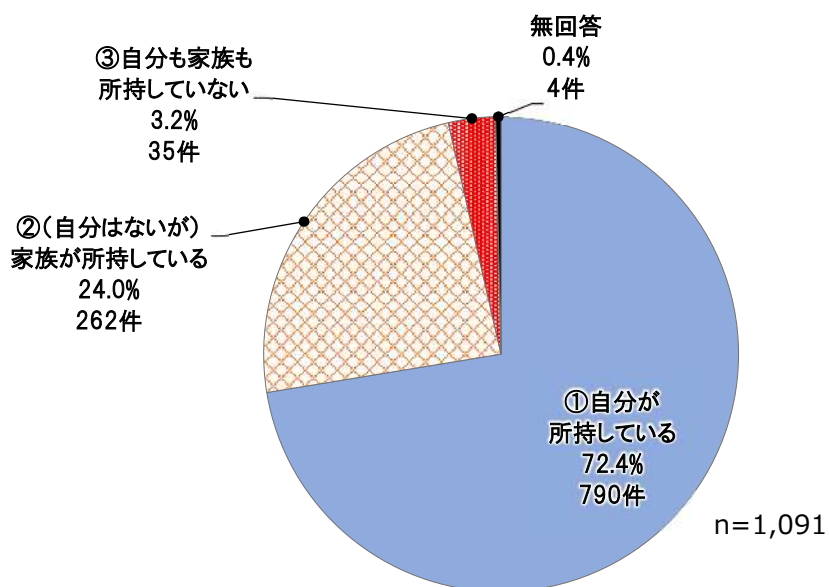
3-1 自動車運転免許を所持していますか。(あてはまるもの1つに○)

現在所持しているが79.4% (1091 件) と最も多くなっており、一方、所持していない方は約2割程度となっています。



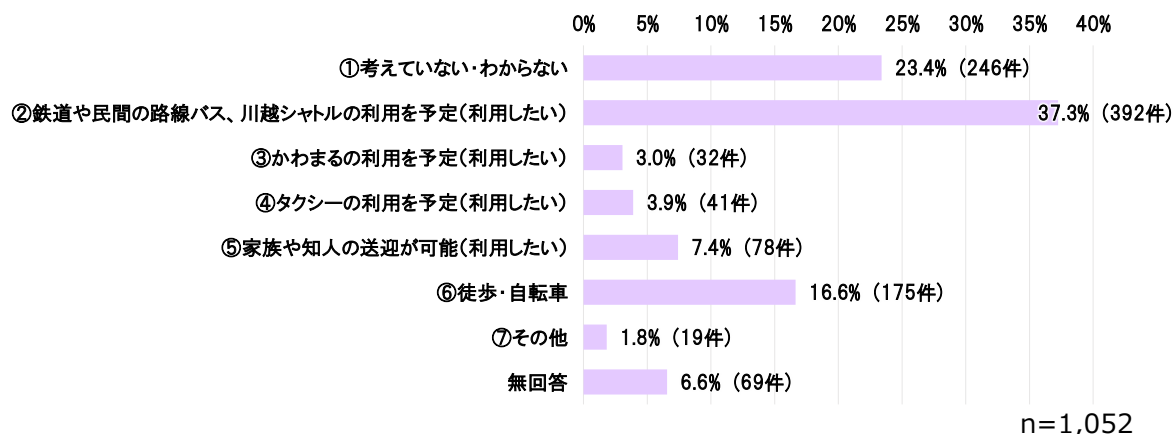
3-2 車（自動車・バイク）を所持していますか。(あてはまるもの1つに○)

自動車運転免許を所持している方のうち、自分が所持しているが72.4% (790 件) と最も多く、家族が所持している方も含めると、約96%が車（自動車・バイク）を所持しています。



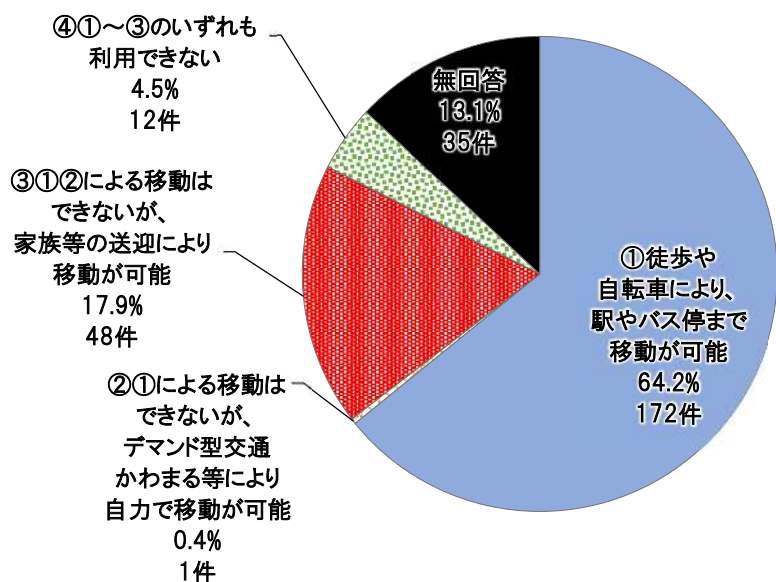
3-3 3-2 で①②を選択した方にお伺いします。将来、高齢等により運転が困難になった場合の移動手段について教えてください。（最もあてはまるもの1つに○）

鉄道や民間の路線バス、川越シャトルの利用を予定（利用したい）が 37.3%（392 件）と最も多く、次いで、考えていない・わからないが 23.4%（246 件）、徒歩・自転車が 16.6%（175 件）の順となっています。



3-4 移動手段の有無についてお伺いします。（最もあてはまるもの1つに○）

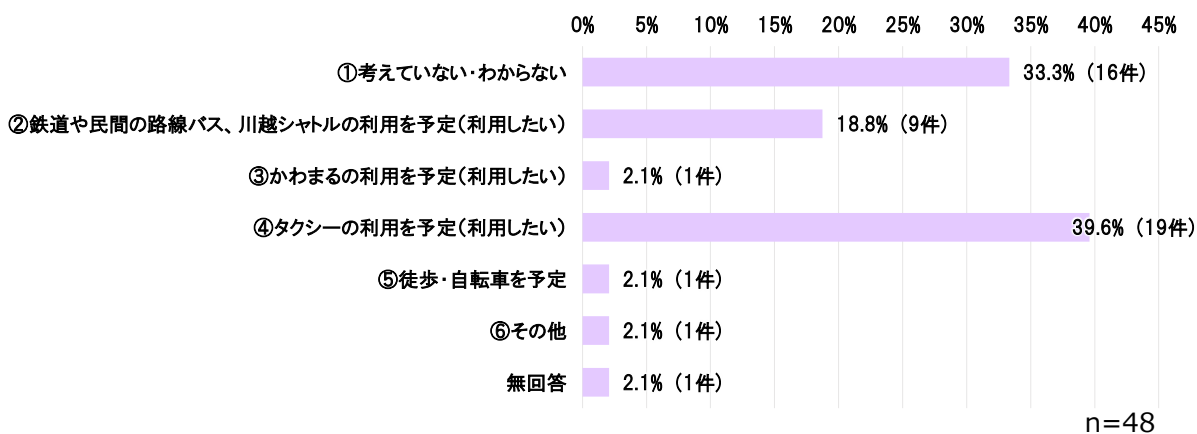
徒歩や自転車により、駅やバス停まで移動が可能が 64.2%（172 件）と最も多く、次いで、①（徒歩や自転車により、駅やバス停まで移動や）②（デマンド型交通かわまる等により自力で移動）はできないが、家族等の送迎により移動が可能が 17.9%（48 件）となっています。



n=268

3-5 3-4 で③を選択した方にお伺いします。将来、家族等による送迎が困難になった場合の移動手段について教えてください。（最もあてはまるもの1つに○）

タクシーの利用を予定（利用したい）が 39.6%（19 件）と最も多く、次いで、考えていない・わからないが 33.3%（16 件）、鉄道や民間の路線バス、川越シャトルの利用を予定（利用したい）が 18.8%（9 件）となっています。

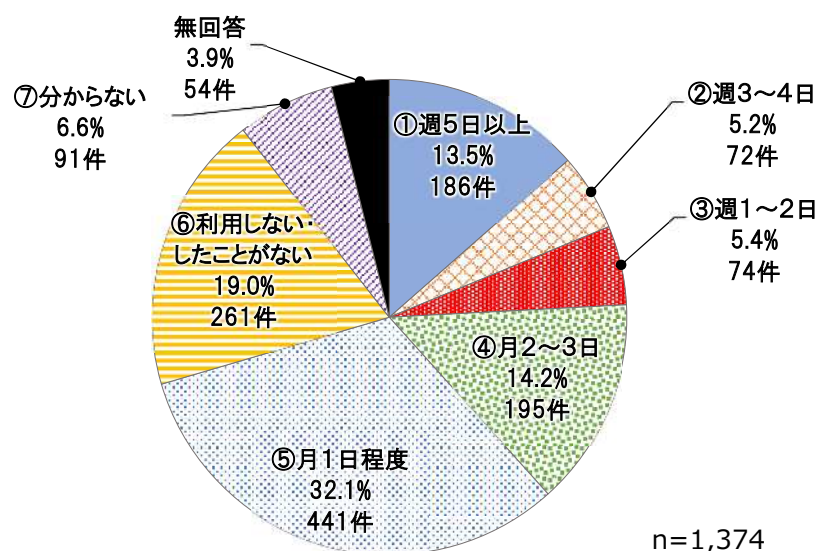


(4) 公共交通の利用頻度と満足度

4-1 『鉄道』

4-1-1 鉄道の利用頻度についてお伺いします。(最もあてはまるもの1つに○)

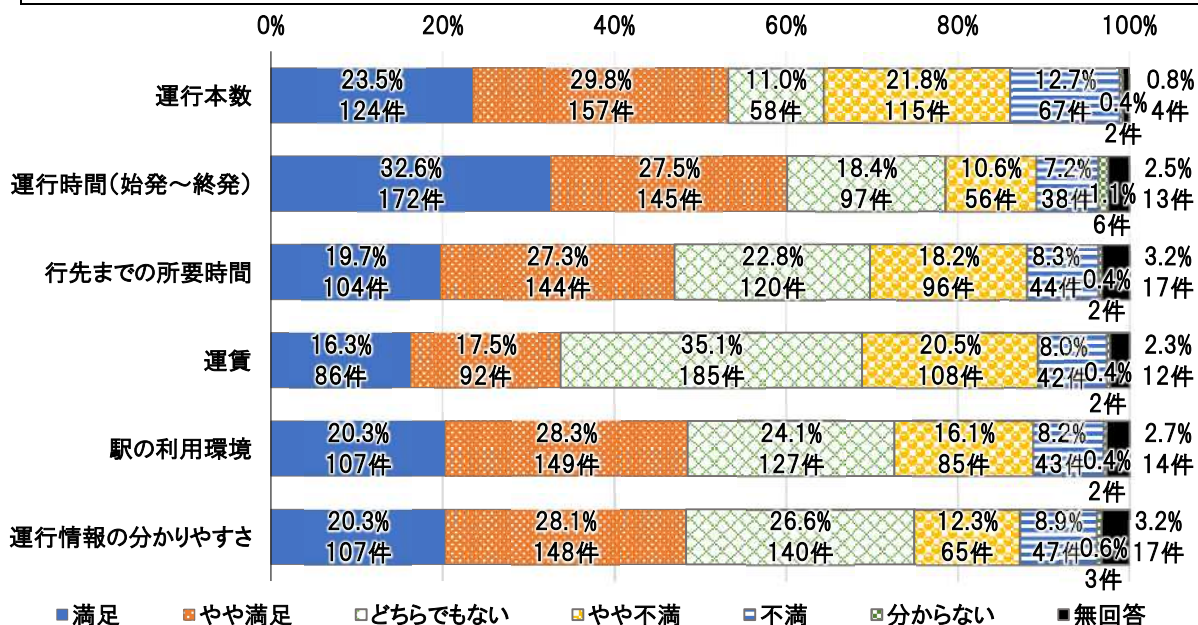
月1日程度が32.1% (441件) と最も多く、次いで、利用しない・したことがないが19.0% (261件)、月2～3日が14.2% (195件)、週5日以上が13.5% (186件) の順となっています。



4-1-2 4-1-1 で①～④を選択した方にお伺いします。次の表の各項目について、最も当てはまるものに「○」をつけてください。

満足とやや満足の合計は、運行時間(始発～終発)が60.2% (317件) と最も多く、次いで、運行本数が53.3% (281件) となっています。一方、やや不満と不満の合計は、運行本数が34.5% (182件) と最も多く、次いで、運賃が28.5% (150件) となっています。

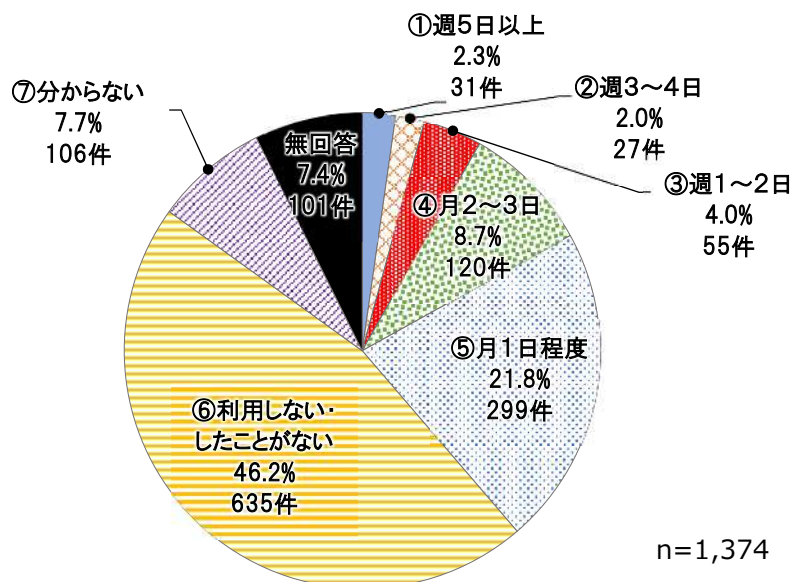
運賃は、どちらでもないが35.1% (185件) で、満足とやや満足の合計ややや不満と不満の合計より多くなっています。



4-2 『民間路線バス』

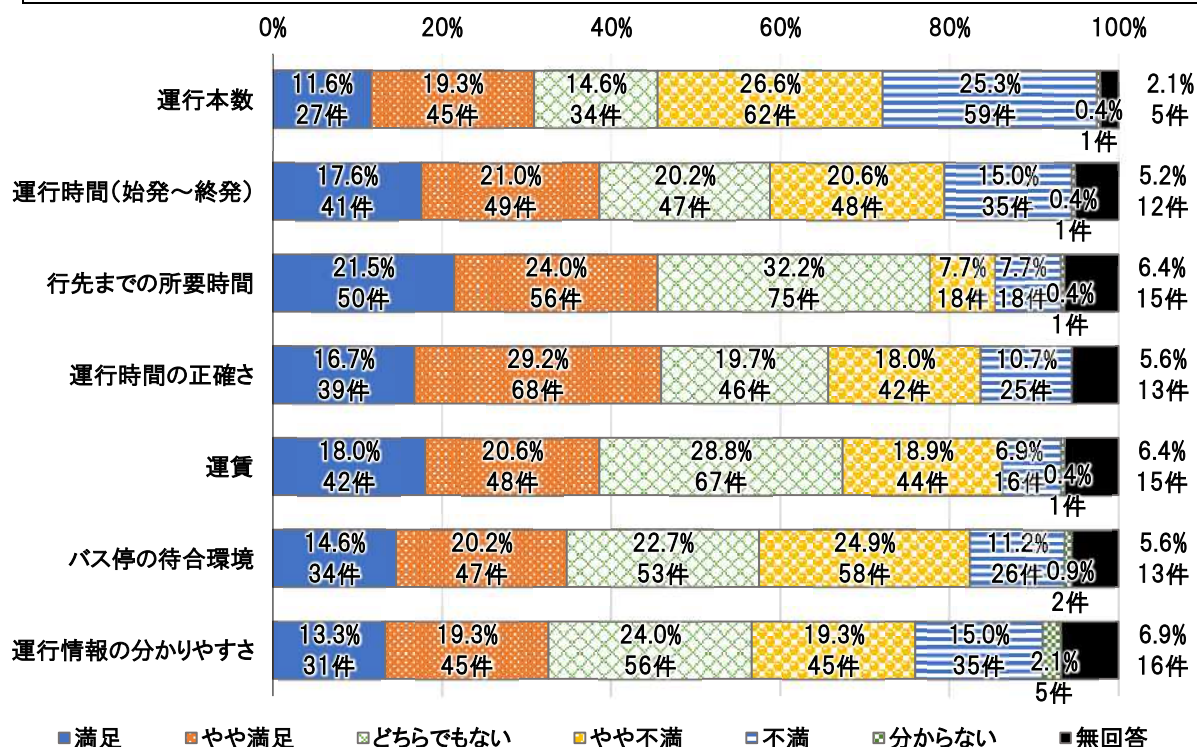
4-2-1 民間路線バスの利用頻度についてお伺いします。（最もあてはまるもの1つに○）

利用しない・したことがないが 46.2%（635 件）と最も多く、次いで、月 1 日程度が 21.8%（299 件）、月 2～3 日が 8.7%（120 件）の順となっています。



4-2-2 4-2-1 で①～④を選択した方にお伺いします。次の表の各項目について、最も当てはまるものに「○」をつけてください。

満足とやや満足の合計は、運行時間の正確さが 45.9%（107 件）と行先までの所要時間が 45.5%（106 件）と多くなっています。一方、やや不満と不満の合計は、運行本数が 51.9%（121 件）と最も多く、次いで、バス停の待合環境が 36.1%（84 件）、運行時間（始発～終発）が 35.6%（83 件）、運行情報の分かりやすさが 34.3%（80 件）となっています。

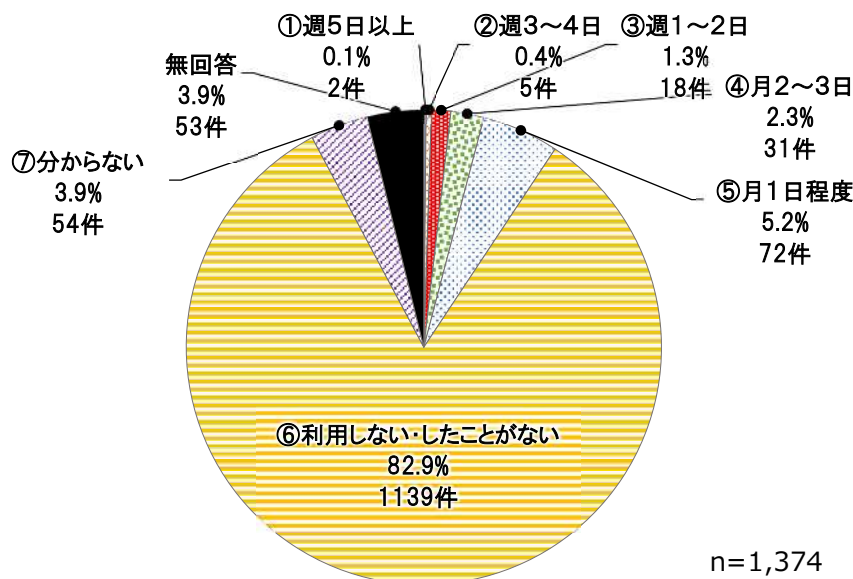


n=233

4-3 『川越シャトル』

4-3-1 川越シャトルの利用頻度についてお伺いします。（最もあてはまるもの1つに○）

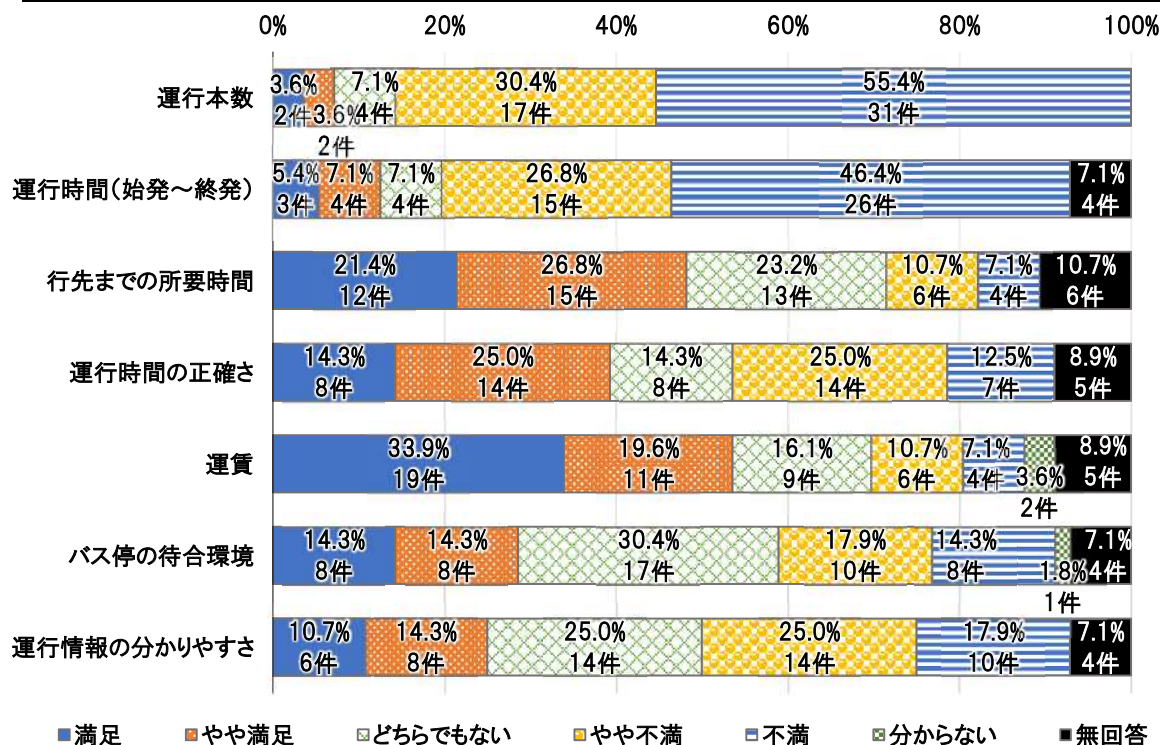
利用しない・したことがないが 82.9%（1139 件）と最も多くなっています。



4-3-2 4-3-1 で①～④を選択した方にお伺いします。次の表の各項目について、最も当てはまるものに「○」をつけてください。

満足とやや満足の合計は、運賃が 53.6%（30 件）と最も多く、次いで、行先までの所要時間が 48.2%（27 件）と多くなっています。一方、やや不満と不満の合計は、運行本数が 85.7%（48 件）と最も多く、次いで、運行時間（始発～終発）が 73.2%（41 件）となっています。

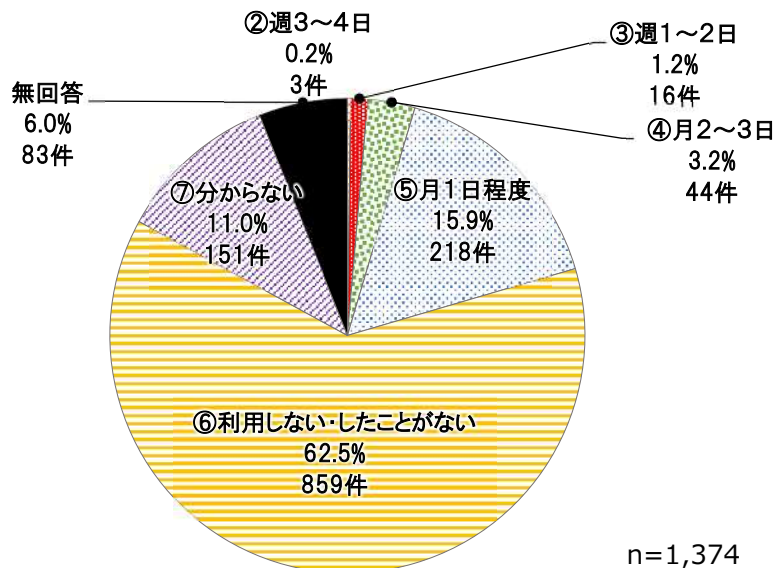
運行本数とバス停の待合環境、運行情報の分かりやすさは、どちらでもないの回答が満足とやや満足の合計ややや不満と不満の合計より多くなっています。



4-4 『タクシー』

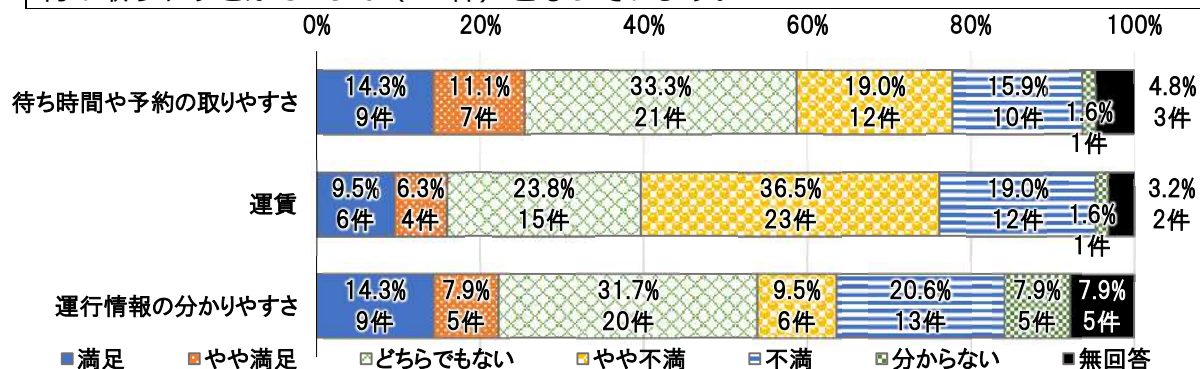
4-4-1 タクシーの利用頻度についてお伺いします。（最もあてはまるもの1つに○）

利用しない・したことがないが 62.5%（859 件）と最も多く、次いで、月 1 日程度が 15.9%（218 件）、分からないが 11.0%（151 件）の順となっています。



4-4-2 4-4-1 で①～④を選択した方にお伺いします。次の表の各項目について、最も当てはまるものに「○」をつけてください。

満足とやや満足の合計は、待ち時間や予約の取りやすさが 25.4%（16 件）と最も多く、次いで、運行情報の分かりやすさが 22.2%（14 件）と多くなっています。一方、やや不満と不満の合計は、運賃が 55.6%（35 件）と最も多く、次いで、待ち時間や予約の取りやすさが 34.9%（22 件）となっています。

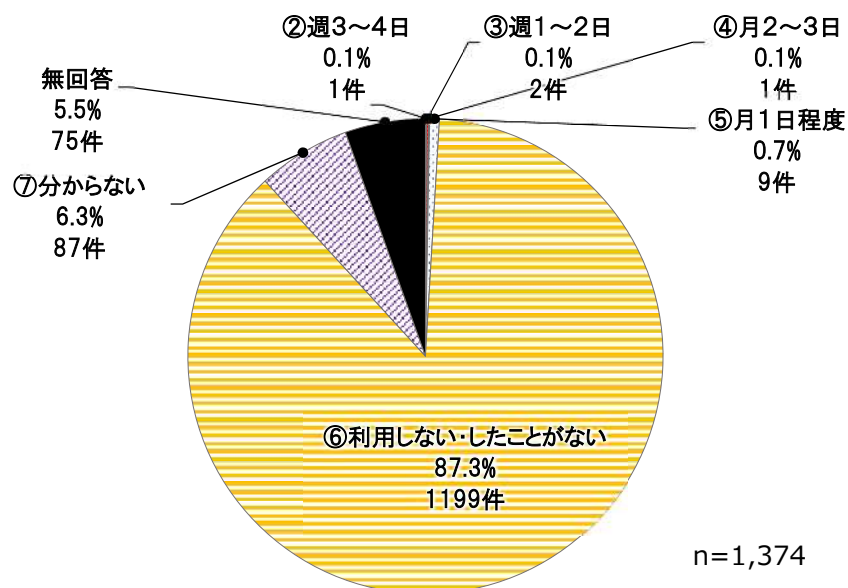


n=63

4-5 『かわまる』

4-5-1 かわまるの利用頻度についてお伺いします。（最もあてはまるもの1つに○）

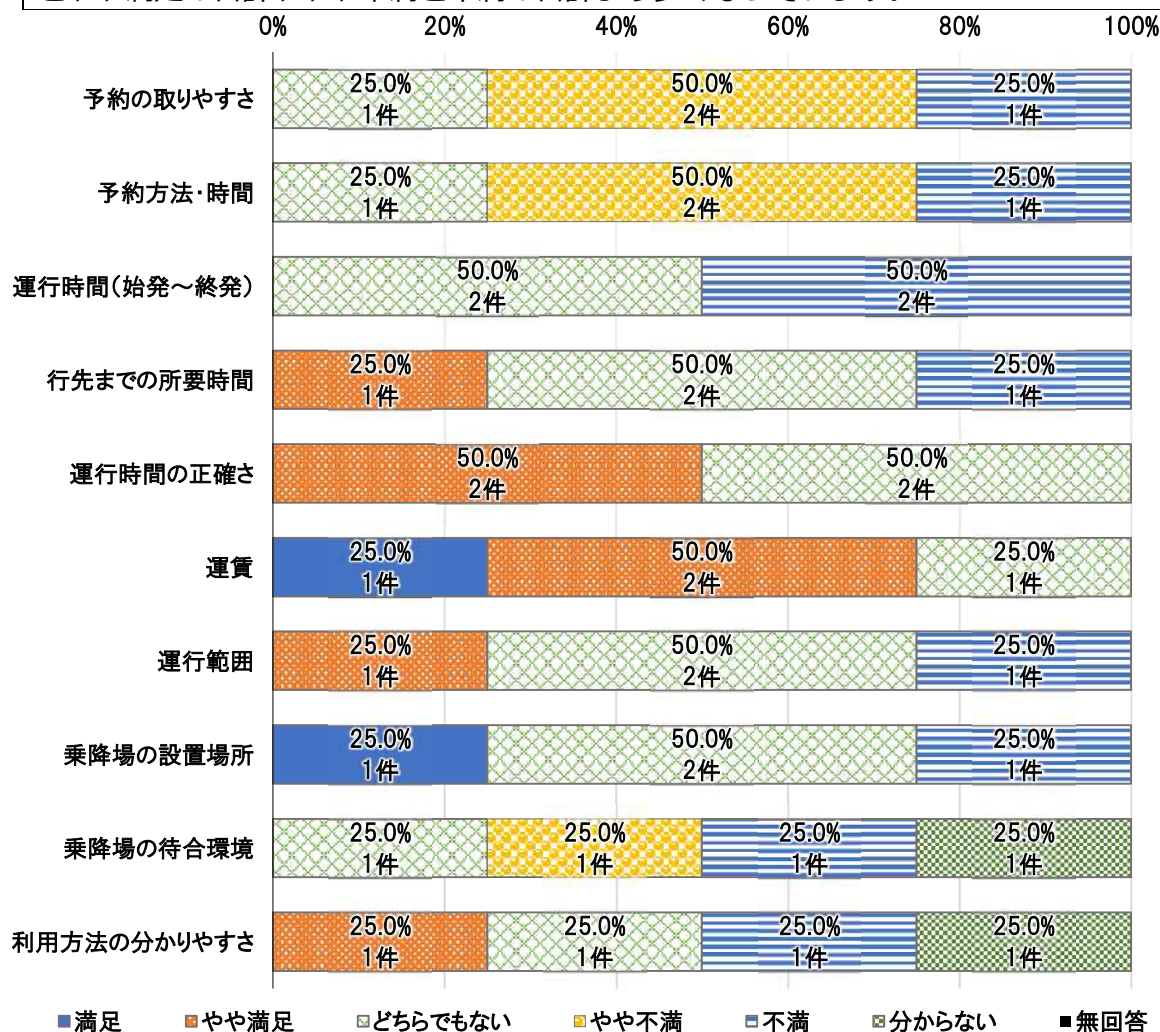
利用しない・したことがないが 87.3%（1199 件）と最も多くなっています。



4-5-2 4-5-1 で①～④を選択した方にお伺いします。次の表の各項目について、最も当てはまるものに「○」をつけてください。

満足とやや満足の合計は、運賃が 75.0%（3 件）と最も多く、次いで、運行時間の正確さが 50.0%（2 件）と多くなっています。一方、やや不満と不満の合計は、予約の取りやすさと予約方法・時間が 75.0%（3 件）と最も多く、次いで、運行時間（始発～終発）と乗降場の待合環境が 50.0%（2 件）となっています。

行先までの所要時間と運行範囲と乗降場の設置場所は、どちらでもないの回答が、満足とやや満足の合計ややや不満と不満の合計より多くなっています。

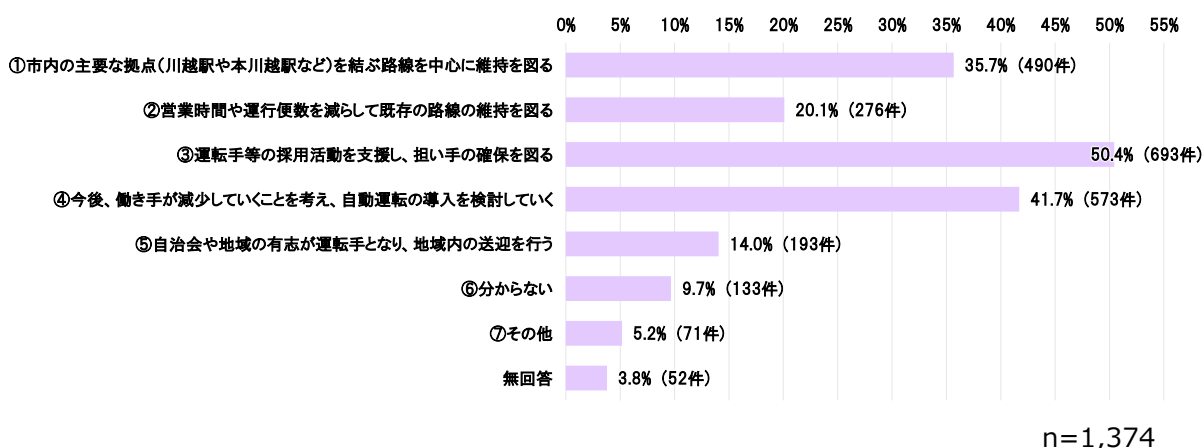


n=4

(5) 公共交通の今後のあり方

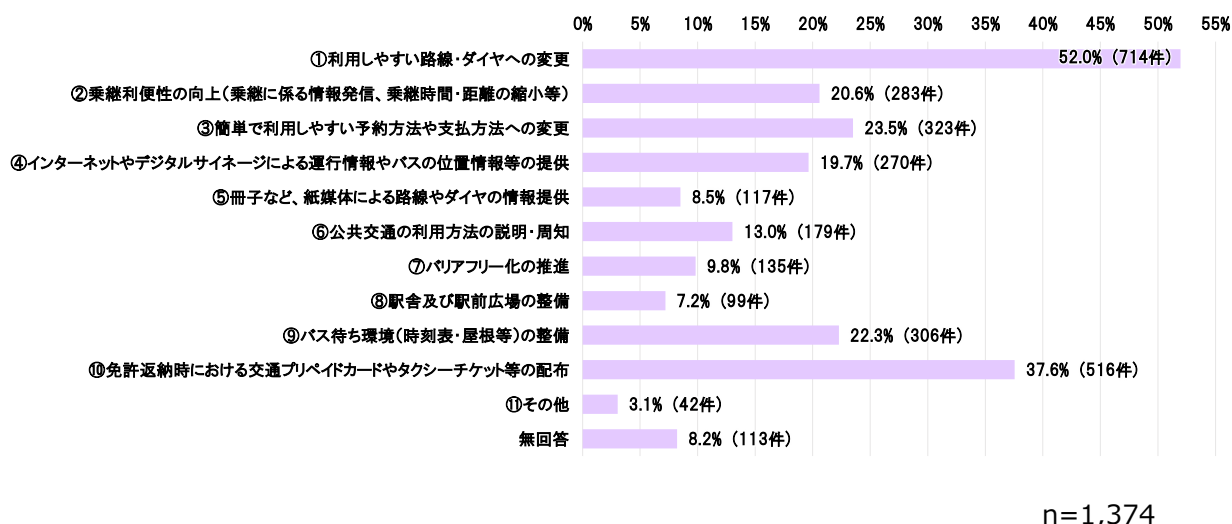
5-1 将来、運転手不足等により、バス路線の維持が困難になっていく可能性があります。今後、どのような取組をしていくことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

運転手等の採用活動を支援し、担い手の確保を図るが 50.4%（693 件）と最も多く、次いで、今後、働き手が減少していくことを考え、自動運転の導入を検討していくが 41.7%（573 件）、市内の主要な拠点（川越駅や本川越駅など）を結ぶ路線を中心に維持を図るが 35.7%（490 件）となっています。



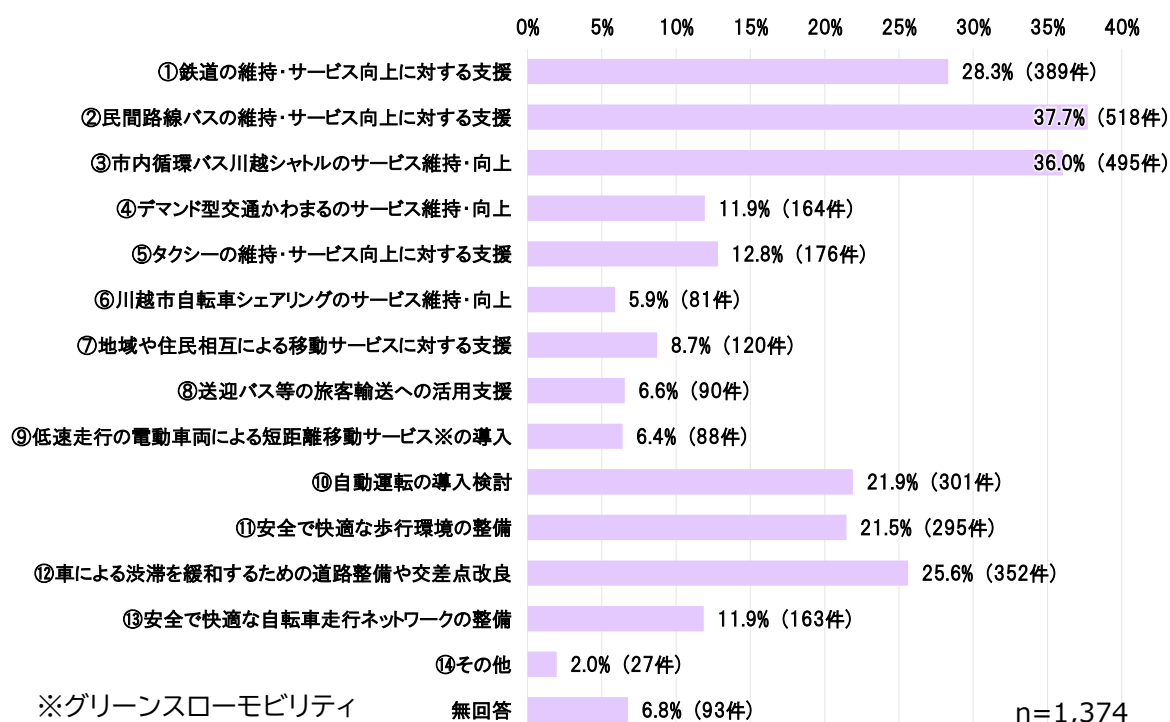
5-2 公共交通を維持していくためには、より多くの方に利用していただく必要がありますが、公共交通を利用しやすくするために重視すべきものについてお伺いします。（あてはまるもの3つまで○）

利用しやすい路線・ダイヤへの変更が 52.0%（714 件）と最も多く、次いで、免許返納時における交通プリペイドカードやタクシーチケット等の配布が 37.6%（516 件）、簡単に利用しやすい予約方法や支払方法への変更が 23.5%（323 件）、バス待ち環境（時刻表・屋根等）の整備が 22.3%（306 件）となっています。



5-3 川越市が今後、交通サービスに関する取組として重視すべきものについてお伺いします。（あてはまるもの3つまで○）

民間路線バスの維持・サービス向上に対する支援が 37.7%（518 件）と最も多く、次いで、市内循環バス川越シャトルのサービス維持・向上が 36.0%（495 件）、鉄道の維持・サービス向上に対する支援が 28.3%（389 件）となっています。



5-4 今後の公共交通の維持やサービス向上に係る費用負担のあり方について、お伺いします。（最もあてはまるもの1つに○）

利用者負担を基本に、一部を川越市も負担して支えるが 65.1%（894 件）と最も多く、次いで、主に川越市が負担するが 12.0%（165 件）、主に利用者が負担するが 11.8%（162 件）となっています。

